

## 気温観測の補正と正しい地球温暖化量

### Accurate magnitude of long-term warming in Japan obtained by correcting temperature data

近藤 純正<sup>1\*</sup>

Junsei Kondo<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>東北大学

<sup>1</sup>Tohoku University

気象観測資料には、時代による観測の方法や器械の変更による誤差のほか、観測所のごく近傍の風通りの悪化による日だまり効果など、様々な誤差が含まれる。それらを補正して得た正しい地球温暖化量（バックグラウンド温暖化量）は、100年当たり $0.67^{\circ}\text{C}/100\text{y}$ である（1881～2007年の127年間平均）。この100年余には、気温が急上昇するジャンプが4回あり、ジャンプ量は高緯度ほど大きい。気温は太陽黒点数や大規模火山噴火とも関係している。昔の日本の大規模災害は主に旱魃によるものであったが、近年300年間の努力によって克服されてきた。しかし、冷害の可能性は未だに残っている。二酸化炭素の増加にともなう地球温暖化とは別に、多くの大・中都市では都市化による気温上昇（熱汚染量）は、この100年間の地球温暖化量よりも大きい。

キーワード: 気温, 地球温暖化, 日だまり効果, 太陽黒点, 火山

Keywords: temperature, global warming, sunny spot effect, solar spot, volcano